

令和2年度一般会計補正予算などを可決

12月定例市議会が11月27日に招集され、12月11日までの15日間の会期で開かれました。上程された議案は、教育委員会教育長の任命や令和2年度各会計補正予算など17件と報告1件で、すべて原案のとおり可決・同意されました。

上程された主な議案

◇教育委員会教育長の任命

12月9日で任期満了となる齋藤光正氏（由利本荘市）を、引き続き教育長として任命することについて同意されました。



齋藤光正氏

◇にかほ市議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

◇にかほ市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正

◇にかほ市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定

議員、特別職および一般職の期末手当の支給率を、0・05月引き下げため、各条例を改正しました。

◇組織再編に伴う関係条例の整備に関する条例制定

令和3年度から農林水産建設部を、「農林水産部」と「建設部」に再編するため、関係条例を改正しました。

◇令和2年度にかほ市一般会計補正予算(第11号)

歳入歳出予算とも6億1,751万4千円を追加し、予算総額は19億6億2,469万9千円となりました。

【主な歳出】

- ・ふるさと納税特産品返礼事業 2億2,562万2千円
- ・高齢者等PCR検査助成事業 2億1,338万9千円
- ・東北DCに向けた観光地PR等事業 3億3,875万5千円
- ・消防・救急隊感染症対策資器材整備事業 5億1,876万6千円
- ・避難所感染防止対策事業 1億3,277万7千円
- ・図書館施設感染防止対策事業 3億6,373万3千円

主な市政報告

◇感染症対策本部

10月1日以来となる第19回にかほ市新型コロナウイルス感染症対策本部会議を11月26日に開催し、全国的な感染拡大の状況を踏まえた職員の対応等について協議しました。

来庁者への職員の対応については、職務中は原則としてマスクを着用して対応し、職員の間では、職務中は原則としてマスクを着用して対応し、職員の間では、職務中は原則としてマスクを着用して対応し、職員の東京府、大阪府、北海道を始めとする感染拡大が続いている地域への出張は、真にやむを得ない場合を除き避けることとしています。

◇にかほ市地域応援商品券事業

コロナ禍における市民生活と市内事業者を支援する消費活性化事業として、にかほ市地域応援商品券「にかほっぺんクーポン」を市民全員に配布しました。1人当たり3,000円分の商品券を世帯全員分まとめて、11月9日に世帯主宛てに発送しています。商工会加盟店だけでなく、この事業の取り扱い加盟店である262店舗（11月25日現在）で、1月31日まで利用できますので、早めの利用について周知していきます。

◇市内の雇用状況

今年2月以降、下落が続いたハローワーク本荘管内の有効求人倍率は、5月末には0・99倍となり、1・0倍を割るのは平成29年6月以来となりました。6月末には1・04倍に回復し、その後も多少の持ち直しが見られますが、前年同期比では、8月末は0・36ポイント減、9月末は0・3ポイント減と、コロナ禍の影響により低い水準で推移しています。

9月末では、有効求職者数1,634人に対し、有効求人数が1,758人と上回っているものの、「常用雇用」に限れば、有効求職者数1,614人に対して有効求人数は1,608人で、有効求人倍率は0・99倍に留まっています。今後の動向を注視する必要があります。

◇県民誘客支援事業

7月から8月にかけて実施した県民誘客支援事業「にかほ大作戦!!」では、3,000円相当の地元特産品2,893セットを市内宿泊者に贈呈しています。あわせて実施したアンケート調査にも1,870件の回答があり、貴重な声として今後の観光施策に活用していきます。また、県民誘客支援事業の第

◇ふるさと納税

ふるさと納税は、昨年6月以降、地方税法に基づく指定制度となりましたが、本市は令和2年10月から令和3年9月までの期間、引き続きふるさと納税の対象団体として指定されています。

◇ふるさと納税

今年度のふるさと納税の状況は10月末現在、10,968件、1億8,809万6千円で、昨年同期と比較すると、件数で5,203件、90・3%の増、金額では4,445万5千円、30・9%の増となっています。返礼品では、お米を希望される方が金額ベースで71・9%と大きな割合を占めていて、特に定期的にお届けする「米の定期便」が変わらず好調です。

◇新型コロナウイルス感染症の流行下における一定の高齢者等への検査助成事業

今年度のふるさと納税の状況は10月末現在、10,968件、1億8,809万6千円で、昨年同期と比較すると、件数で5,203件、90・3%の増、金額では4,445万5千円、30・9%の増となっています。返礼品では、お米を希望される方が金額ベースで71・9%と大きな割合を占めていて、特に定期的にお届けする「米の定期便」が変わらず好調です。

基礎疾患を有する方々への感染拡大や重症化を防止するため、無症状の方が自ら希望してPCR検査を実施する場合、検査費用の一部を助成する事業を新たに進めています。行政検査以外の検査体制を整備するものであり、本市でも事業を進めていきます。

◇国民健康保険診療所の統合

令和3年4月に院内診療所を小出診療所に統合することについて、これまでアンケート調査と、院内・小出の両地区での住民説明会を行いました。アンケート調査や説明会では、「通院しやすいコミュニティバスの時間設定」、「院内集落内のコミュニティバスの走行」、「小出診療所への誘導看板の設置や周辺道路の拡幅、冬期間の除雪」、「予約診療の導入」などの意見や要望をいただきました。これらについては、可能な限り対応しながら、将来的に継続できる診療所を目指していきます。

◇農業について

今年の稲作の状況は、田植え後に好天に恵まれ順調に生育したものの、梅雨に入り曇天の日が続く出穂が遅れることが懸念

◇冬の道路除雪

12月1日から冬期間の道路除雪体制に入るのを前に、11月12日に委託業者等との除雪会議を開催し、安全かつ効率的な除雪作業が行えるよう打ち合わせを行いました。直営作業班をはじめ、個人を含む14社体制で、降雪時の円滑な歩行と車輛通行の確保に努めていきます。

主な教育行政報告

◇最近の学校の様子

8月18日から始まった小・中

学校の2学期では、各学校が引き続き感染予防対策に取り組みながら、教育活動の充実に努めてきました。

9月下旬から10月上旬までに実施された教育委員学校訪問では、意欲的に学ぶ子どもたちの姿を見ることができました。運動会や修学旅行などの学校行事も、規模を縮小しながらではありますが、無事実施することができました。

◇にかほミュージアム連携協議会の事業

市内の博物館施設4館の入館者数は、コロナ禍における入館制限等の影響により、全体では前年度を大きく下回って推移し、10月までの今年度入館者数は、前年同期比80・8%の減となっています。

そうした中、TDK歴史みらい館を含めた博物館施設5館で組織する「にかほミュージアム連携協議会」では、10月1日から12月6日までの期間、「スタンプラリー」を実施し入館者の増を図りました。

今後も各館が新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じながら連携の強化を図り、市内外の多くの来館者に満足いただけるよう努めていきます。